

## 令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

### クロザコエビ日本海

対象水域	日本海（山形～島根）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部・海洋環境部、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
------	------------	-------	---

#### (1) 調査の概要

- ・機構は生物情報の収集、日本海西部および北部における資源調査（分布調査）および各県調べの漁獲情報の集約を実施、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
- ・山形県では2020年以降の月別漁獲量（底びき網、トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・石川県では主要10港の2012年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・福井県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・京都府では2011年以降の月別漁法別漁獲量（トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・兵庫県では2010年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
  - ・鳥取県では2011年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
  - ・島根県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（トゲザコエビとの合算値）を収集済み
  - ・機構は各府県調べの漁獲量を集約、日本海西部・北部における資源調査ならびに標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施中

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_11.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_11.pdf)、2023年11月20日閲覧）を参照
- (2) 年齢・成長：同上

(3) 成熟・産卵：同上

(4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み  
([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_11.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_11.pdf)、2023年11月20日閲覧)
- ・多くの地域で、エビジャコ類やその他エビ類の集計として他種と合算されており、引き続き、精査が不可欠
- ・日本海西部・北部における資源調査や標本船調査等のデータ蓄積がさらに必要